

郵政民営化(ゆうちょ銀行)の 銀行界への影響

2008年11月6日
全国銀行協会

運用手段の多様化は堅実に進み、銀行界への影響は、これまでのところ、ほとんど見受けられない

【おもな商品の国内市場規模】

～2007年度の組成額・発行額等～

シンジケート・ローン ^(注1)	26.1兆円
貸出債権の流動化 ^(注2)	5.3兆円
証券化商品	6.8兆円



【ゆうちょ銀行の新規業務】

～2008年3月末残高～

貸出金 ^(注3)	427億円
買入金銭債権	209億円

(資料)ゆうちょ銀行「ディスクロージャー誌」、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構「財務諸表」
全銀協「貸出債権市場取引動向」、日本証券業協会・全銀協「証券化市場の動向調査」

(注1)シンジケート・ローンはタームローンとコミットメントラインの合計 (注2)貸出債権の流動化は正常債権・不良債権の合計

(注3)ゆうちょ銀行の貸出金については、郵貯簡保機構向け(3兆7136億円)および預金者貸付(151億円)を除いた残高

ゆうちょ銀行の新規業務（運用手段）	実施状況等
①シ・ローン（参加型）、SPCへの貸付	2008.1 シンジケート・ローン（参加型）融資を実行
②公共債の売買	市場の状況等を勘案しながら、態勢整備が出来次第、運用開始予定
③信託受益権の売買、株式の売買等	2008.3 信託受益権の取得を実行
④貸出債権の取得又は譲渡等	2008.2 貸出債権の取得を実行
⑤金利スワップ取引、金利先物取引等	2008.2 金利スワップ取引を実行
⑥リバースレポ取引	2008.6 リバースレポ取引を実行

(資料) 郵政民営化委員会（第46回）配布資料「郵政民営化委員会 ヒアリング資料（ゆうちょ銀行提出資料）」

新規商品・サービスは慎重な滑り出しであり、銀行界への影響は、これまでのところ、ほとんど見受けられない

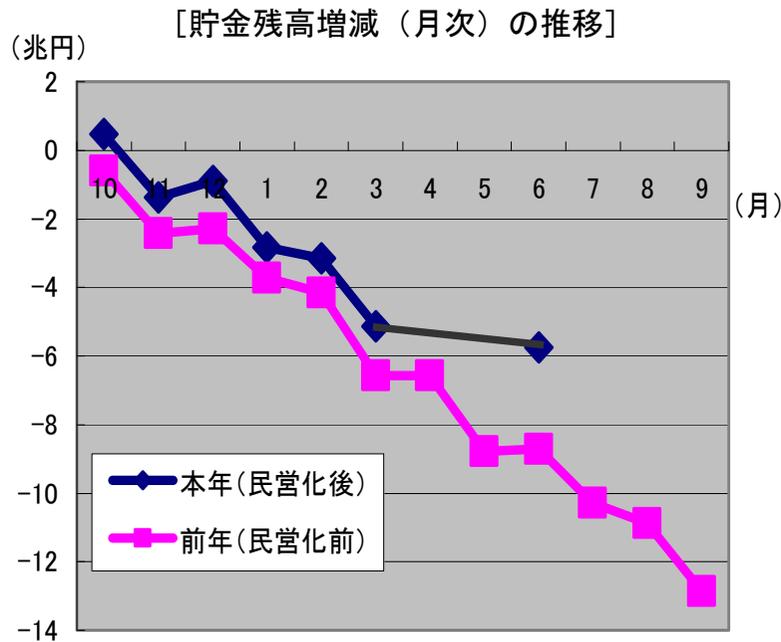
新規業務	実施状況等	実績値 (注1)	国内市場規模等
①クレジットカード業務	2008. 5. 1 業務開始 (全ての直営店・郵便局で展開中)	約6.7万件 (2008. 8末)	発行枚数 2億9266万枚 (2006年度末)
②変額個人年金保険等生命 保険募集業務	2008. 5. 29 業務開始 (直営店164店舗で展開中)	約39億円 (2008. 7末)	変額個人年金保険契約高 16兆4045億円 (2007年度末)
住宅ローン等の媒介業務	2008. 5. 12 業務開始 (直営店50店舗で展開中)	約100億円 (2008. 8末)	住宅ローン残高(注2) 106兆7775億円 (2007年度末)
③個人向けローン(住宅ローン、 カードローン等) 認可申請未済	・ノウハウを蓄積し、媒介業務開始 の1年後を目処に、自社ローンの 取扱開始を希望 【2006. 11. 22 郵政民営化委員会】	—	
④流動性預金の預入限度額廃止	・2008. 4. 1 金融庁、総務省、郵政 民営化推進室あて政令改正要望を 提出	—	—

(資料) 郵政民営化委員会(第46回)配布資料「郵政民営化委員会 ヒアリング資料(ゆうちょ銀行提出資料)」
社団法人日本クレジット産業協会「クレジット関連統計」、社団法人生命保険協会「年次統計」、
日本銀行「預金・貸出関連統計」

(注1) 実績値は各社報道ベース

(注2) 都銀、地銀、第二地銀、信託4行、新生銀行、あおぞら銀行の住宅ローン残高の合計

貯金残高は引き続き減少傾向だが、キャンペーン実施による底上げ等により減少ペースは緩和



(資料) 日本郵政、ゆうちょ銀行ホームページ
 (注) 前年は2006. 9、本年は2007. 9の残高を基準として増減額の累計を表示。2008. 4以降、データ公表サイクルが月次から3ヶ月ごとに変更

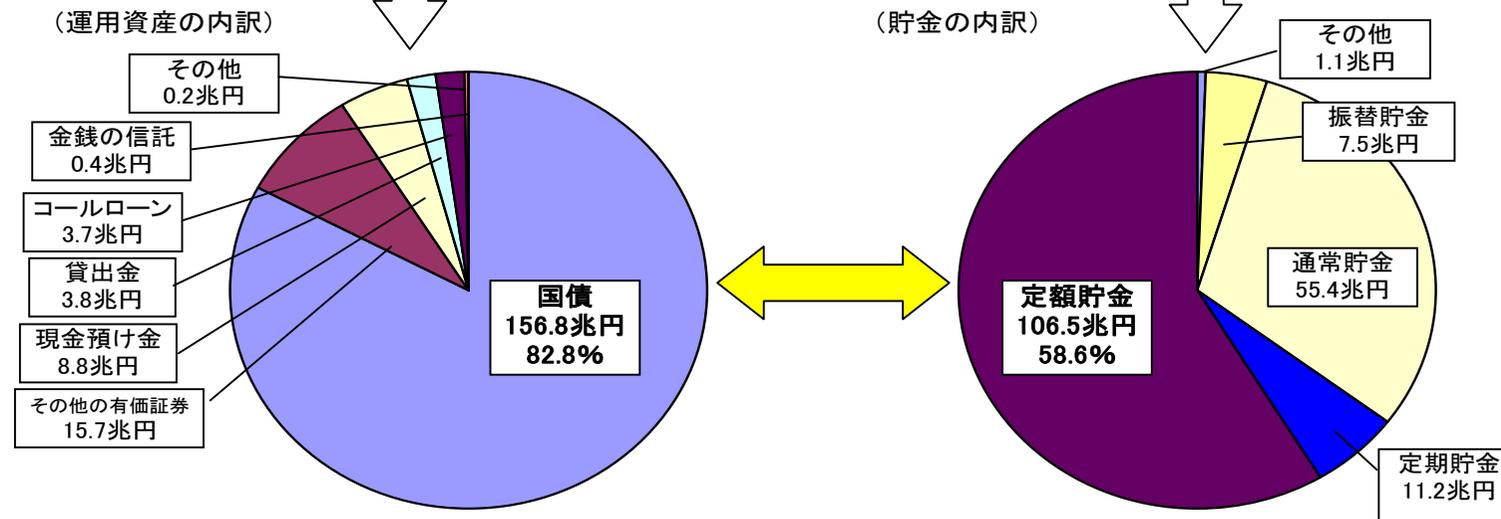
[貯金推進キャンペーンの例]

キャンペーン名	内容
郵政民営化記念宝くじキャンペーン 【2007.10.10～11.9】	定期貯金100万円につき期間3年未満2,000円相当、3年以上4,000円相当の宝くじをプレゼント
金利優遇キャンペーン 【2007.12.3～12.28】	個人が対象。50万円以上の定期貯金の金利を0.2%優遇。
退職金キャンペーン 【2008.2.4～5.30】	退職金受取者が対象。100万円以上の定期貯金の金利を0.3%優遇。
定額貯金キャンペーン 【2008.5.12～12.30】	満期を迎えた定額貯金が対象。抽選で8000名に「ギフトカード」をプレゼント(最高5万円分)。定額貯金または定期貯金100万円ごとに1口応募。
金利優遇キャンペーン 【2008.6.2～8.1】	個人が対象。50万円以上の定期貯金の金利を1年:0.2%、3ヶ月0.5%優遇。
年金キャンペーン 【2008.8.15～10.29】	公的年金受取者が対象。50万円以上の定期貯金の金利を0.3%優遇。
冬の金利優遇キャンペーン 【2008.10.30～2009.1.30】	50万円以上の定期貯金(期間1年)の金利を0.25%優遇。

偏重した運用・調達構造は不変であり、引き続きバランスシートに大きな金利リスクを内包

[ゆうちょ銀行のバランスシート (2008年3月末)]

資産の部		負債の部	
運用資産	189.4兆円	貯金	181.7兆円
固定資産等	0.2兆円	その他の負債	1.6兆円
その他資産	1.8兆円	純資産の部	8.1兆円
資産合計	191.4兆円	負債・純資産合計	191.4兆円



(資料)ゆうちょ銀行「ディスクロージャー誌」

(注)預託金(20.7兆円)は同額計上の借入金と相殺

利用者の利便向上の観点から、全銀システム接続に向けた準備が着々と進展

- システム等の安全面が確保されることを前提に、ゆうちょ銀行は2009年1月に全銀システムに接続する予定
⇒ 全銀システムに接続している金融機関との間で相互振込が可能に
- 銀行界としても、お客様にご迷惑をかけることのないよう、システム・テストの実施や口座番号読替にかかる周知徹底等、万全の協力体制で対応

(ご参考)円滑な接続に向けた各種取組み

総合運転試験

- 全銀システムに接続している約1,500の金融機関とゆうちょ銀行で運用確認試験等を20回以上実施

加盟銀行における周知

～掲示開始は12月上旬の予定～

- ATMにステッカー(操作方法)貼付
- 窓口・ATMコーナーにポスター(口座番号の確認方法)掲示
- 窓口にリーフレット(口座番号の確認方法)備付
- ATMコーナーに短冊形チラシ(操作方法)備付

その他

- 例えば、みずほ銀行では、告知看板の設置、ATM画面での注意喚起、DMの送付等の取組みを実施

(ご参考)ポスター、チラシ

ゆうちょ銀行の口座へ お振込をされるお客さまへ

平成21年
1月5日
より
 全国の金融機関とゆうちょ銀行とのあいだで
お振込ができるようになります。
※開始時期は延期される場合があります。

**全国の金融機関とゆうちょ銀行は、
店名や口座番号の表示が異なるため、
ゆうちょ銀行口座について、新たに
振込用の「店名・口座番号」が必要です。**

ここが重要

全国の金融機関→ゆうちょ銀行口座に
お振込をされる際は、
**振込用の店名・口座番号を
事前にご確認ください。**

お問い合わせは、ゆうちょ銀行へ

電話・インターネットでも、24時間ご確認いただけます。

電話の場合

① ☎0120-253811 まで、お電話ください。
 ② 「1」と「#」を押してください。
 ③ 音声にしたがって、お客さまの記号・番号を入力してください。
 ④ 振込用の店名・口座番号を自動音声でご案内します。

インターネットの場合

① インターネットで「ゆうちょ」検索。
 ② ゆうちょ銀行Webサイト内の「振込用の店名・口座番号のご案内」のページで、お客さまの記号・番号を入力してください。
 ③ 振込用の店名・口座番号を表示します。

ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行口座への お振込方法 平成21年1月5日より

ゆうちょ銀行の振込用の店名・口座番号をご存じでないお客さまへ
下記の手順にそってお振込ください。

- 1** 銀行名「ゆうちょ」を選択
- 2** 記号の**2ケタ目**で店名を検索(カタカナ入力です)

注意!
(例) 記号「10520」 番号「123456789」
 2ケタ目の数字の羅文字をカタカナに変えます。
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 セ イ ニ サ ヨ コ ロ ナ ハ キ
 「セ」のボタンを押す
- 3** 店名を入力(3ケタの漢数字です)

注意!
 記号の最後の数字が「1」か「0」かを正確に確認ください。
 「記号」が**1**から始まる場合
 記号の2・3ケタ目の数字に「八」がついたボタンを押してください。
 (例) 記号「10530」 店名「〇五八」

「記号」が**0**から始まる場合
 記号の2・3ケタ目の数字に「九」がついたボタンを押してください。
 (例) 記号「00530」 店名「〇五九」
- 4** 預金種目を選択

普通預金 貯蓄預金 当座預金
振込先が一般預金の場合は「普通預金」を選択してください。
- 5** 口座番号を入力

注意!
 ケタ数にかかわらず
末尾の1は不要
 ケタ数にかかわらず
番号をそのまま入力
 (例) 番号「123456789」

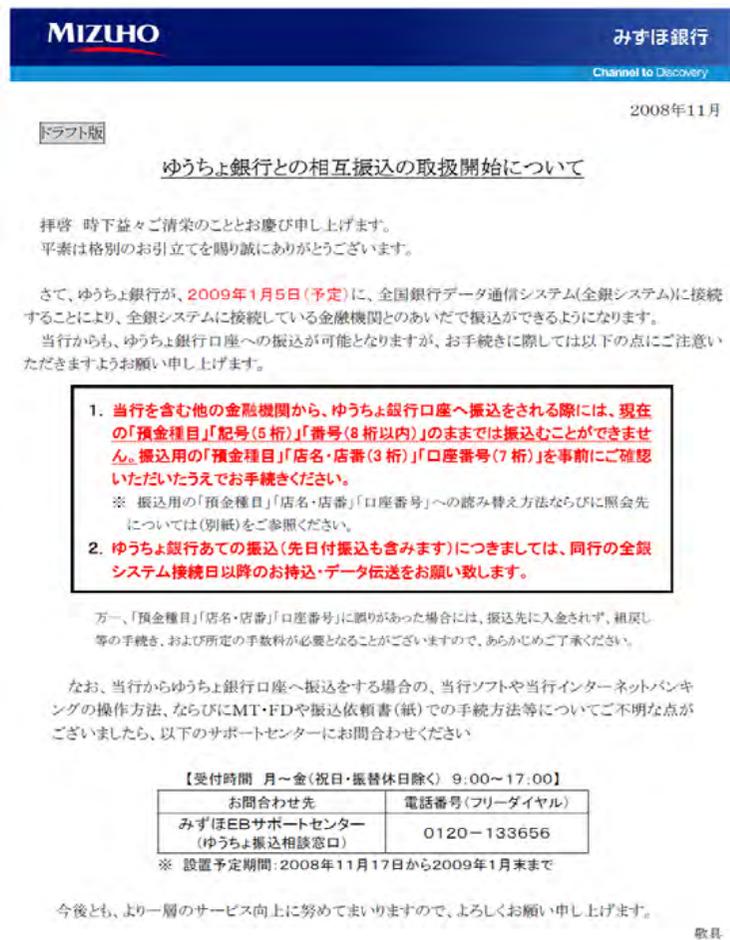
(チラシ: 12月より設置予定)

(ポスター: 12月より掲示予定)

(ご参考)告知看板、DM



(告知看板:12月より設置予定)



(DM:11月に送付予定)

今後、ゆうちょ銀行に期待すること

- 私ども民間金融機関との公正かつ自由な競争を通じ、多様で良質なサービスが提供され、国民の利便性向上が実現されることを期待
- 新規業務については、リスク管理や利用者保護等に留意の上、引き続き慎重な足取りで取り組むべき
- 偏重した運用・調達構造を是正し、経営の健全性を確保するため、肥大化したバランスシートの規模を市場が受入可能な適正水準まで縮小していくべき
- マネロンや振り込め詐欺への対策等についても、民間金融機関と足並みを揃えた取組みを期待